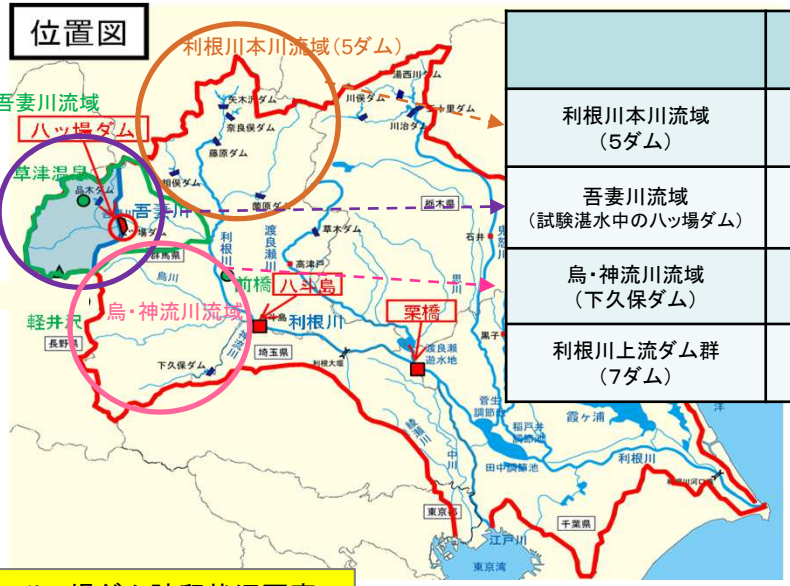
# 台風第19号における利根川上流ダム群※の治水効果（速報）

- 利根川の治水基準点である群馬県伊勢崎市の八斗島地点の上流においては、利根川上流ダム群※において、約1億4，500万m3の洪水を貯留しました。
- これらのダムの貯留により、八斗島地点では、約1m（速報値）の水位が低下したものと推定されます。

※利根川上流ダム群：矢木沢ダム、奈良俣ダム、藤原ダム、相俣ダム、薗原ダム、下久保ダム、試験湛水中の八ッ場ダム

本資料の数値等は速報値のため、今後の調査等で変更が生じる可能性があります。

位置図




| | ダム貯留量 |
|---|---|
| 利根川本川流域（5ダム） | 約3,900万m3 |
| 吾妻川流域（試験湛水中の八ッ場ダム） | 約7,500万m3 |
| 烏・神流川流域（下久保ダム） | 約3,100万m3 |
| 利根川上流ダム群（7ダム） | 約14,500万m3 |

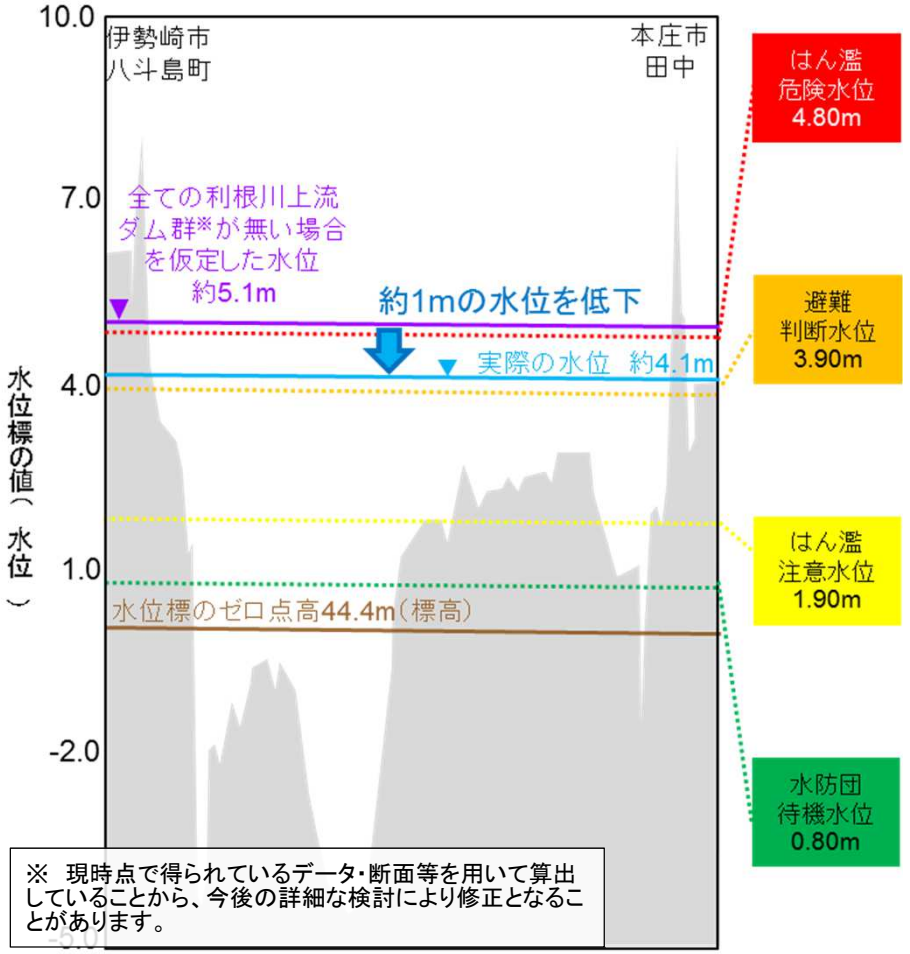
八ッ場ダム貯留状況写真

10月11日　状況写真

10月15日　17:00　状況写真

ダムの効果（八斗島地点）

利根川上流ダム群※により約1m水位を低下




※　現時点で得られているデータ・断面等を用いて算出していることから、今後の詳細な検討により修正となることがあります。